

木部用あく洗い エコシリーズ

あく洗いエコシリーズとは、
従来のミヤキあく洗いシリーズの
普通物タイプです。

※ 用途・現場環境・ニーズにより使い分けください。

白木のあく洗い

アクトッピェコAB



梱包

- A液、B液：各4ℓ入×2セット／1ケース
- A液、B液：各18ℓ入×1セット

用途

- 古家増改築後のあく洗い。
- 新築木部のシミ・手アカ・トノコ・あく、汚れ落とし。

特長

- 天井・欄間等の手作業の困難な所の洗いが簡単に出来ます。
- アクロンABの普通物タイプです。**

定価

| | | |
|------|------|---------|
| 各4ℓ | 1セット | ¥13,000 |
| 各18ℓ | 1セット | ¥35,000 |

白木のシミ抜き

シミトッピェコ



梱包

- 1.8ℓ入×12本／1ケース
- 18ℓ缶入

用途

- 木部についたモルタル・プラスター・雨ジミ・手アカ等のシミ・よごれ落とし。
- 杉材の地黒部の赤味復元。

特長

- レブライトの普通物タイプです。**

定価

| | | |
|------|----|---------|
| 1.8ℓ | 1本 | ¥3,800 |
| 18ℓ | 1缶 | ¥32,000 |

白木のカビ取り漂白

カビトッピェコ



梱包

- 1.8ℓ入×12本／1ケース
- 18ℓ缶入

用途

- 古家のあく洗い後の日焼けカビ落とし。
- 白木の漂白。

特長

- 希釈倍率により漂白効果が変わります。
- あく洗い後の仕上げをきれいにします。

定価

| | | |
|------|----|---------|
| 1.8ℓ | 1本 | ¥3,800 |
| 18ℓ | 1缶 | ¥32,000 |

白木のあく洗い

アクトトップエコ AB

使用方法

- 1 施工面のゴミ・ホコリ等を予め除去してください。
- 2 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
- 3 アクトトップエコA液・B液を1:1に混ぜて、水道水で希釈してください。原液～2倍希釈でお使いください。
- 4 ※使用分量だけポリまたはプラスチック容器(金属は腐食します)に入れてお使いください。液だまりができた時は速やかに拭き取ってください。液だまりを放置すると色ムラの原因となります。
- 5 ※A液・B液の混合液は時間とともに効力が低下しますので、ご使用毎に混ぜてお使いください。
- 6 薬品用ハケに適量を含ませてから、施工面に均一に下から上へ(低い所から高い所)塗布してください。
- 7 ※上の方から塗ると垂れじみができますので、下の方から塗布してください。
- 8 液だまりができた時は速やかに拭き取ってください。液だまりを放置すると色ムラの原因となります。
- 9 ※塗ってから10～20分後(泡が汚れを浮かせまて)濡れた布で汚れやアクをきれいに拭き取ってください。室内の汚れに対してはあまり泡立ちさせません。
- 10 十分に水洗い又は水拭きしてください。
- 11 ※仕上げには、シミトップエコ・カビトップエコをお使いください。
- 12 ※ハケムラ防止のため、天井等の薄い板に使用する時は、あらかじめ板を充分水で濡らしてからお使いください。

使用上の注意

- 1 使用上の注意及びSDSをよく読んでからお使いください。
- 2 ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上で採用ください。本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。
- 3 水道水以外のものと混合しないでください。
- 4 アルミサッシ等金属についたときは、速やかに水拭きしてください。

- 5 木材の劣化が著しいところは、木材表面が毛羽立つことがあります。そのときは乾燥後、木材用紙ヤスリで毛羽立ちを直してください。
- 6 アクトトップエコABで洗浄後、ワックスや塗料を施工するときは、よく乾いてからにしてください。塗装をするときは変色の恐れがありますので試し塗りの上お使いください。
- 7 タタミやジュウタン等にこぼれると変色しますのでご注意ください。
- 8 芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上で使用ください。
- 9 作業するときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
- 10 必ず適切な保護具(防毒マスク又は送気マスク・保護メガネ・保護手袋・不浸透性の保護衣・長靴等)をお使いください。
- 11 口や目に入ったときは、速やかに充分な水洗いをし、医師にご相談ください。
- 12 手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをしてください。異常のある場合は医師の診察を受けてください。
- 13 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- 14 一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- 15 ガス抜きキャップ仕様のため、アクトトップエコABを横倒しにすると液漏れしますのでご注意ください。
- 16 取り扱いは手洗いを充分に行ってください。
- 17 用途以外には使わないでください。
- 18 施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

製品有効期限:未開封冷暗所保管で製造より1年

標準使用量(原液使用時) 5~10ml/l

※使用量は基材によって多少異なります。

白木のシミ抜き

シミトップエコ

使用方法

- 1 施工面のゴミ・ホコリ等を予め除去してください。
- 2 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
- 3 シミ・汚れの程度に応じて2~5倍に水道水で希釈してからお使いください。
- 4 木部についたトノコやモルタル等の異物を落としてから、シミトップエコを薬品用ハケにつけ、施工面に均一に塗布してください。
- 5 必ず十分に水洗い又は水拭きをしてください。
- 6 ※使用分量だけポリバケツ等に入れてお使いください。金属容器は使用しないでください。
- 7 ※シミトップエコを塗って落ちないシミは、シミトップエコ乾燥後、カビトップエコを塗り重ねてください。
- 8 ※木部についた、クロスを貼るノリとシミトップエコが反応して木部が黄色く変色することがありますが、その時は、シミトップエコ乾燥後、カビトップエコを塗り重ねるとよくなります。
- 9 ※アクの強い木材(乾・たいひ・米杉等)のシミ抜きにはシミトップエコを薬品用ハケで塗ったあと、乾いてからカビトップエコを薬品用ハケで塗り重ねてください。特にアクの強いヒバ材・クリ材・ムク材等の、広葉樹系の材質には使用しないでください。

使用上の注意

- 1 使用上の注意及びSDSをよく読んでからお使いください。
- 2 ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上で採用ください。本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。
- 3 エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。
- 4 水道水以外のものと混合しないでください。
- 5 カビトップエコ等の塩素系の漂白剤と混ぜたり、よく乾かないうちに塗り重ねると塩素ガスが出て危険です。建物内、特にトイレ・風呂場等の風通しの悪い場所で使用すると、塩素ガス中毒になる恐れがありますのでご注意ください。

- 6 米松、杉等の材質によっては、木材中のリグニンが強調されて赤味が増すことがあります。
- 7 ワックスや塗装をするときは、シミトップエコを塗った後、水拭きをしてよく乾いてからにしてください。塗装をするときは変色の恐れがありますので試し塗りの上お使いください。
- 8 廊下等のかくし釘にシミトップエコが付着すると、錆びてシミの原因になりますのでご注意ください。
- 9 シミトップエコはジュラック壁・金属・ガラス・石材全般(とくに鏡面仕上げ)・植木等を腐食しますので必ず養生してください。また、それらの基材に付着した場合は速やかに水洗いしてください。タタミやジュウタン等にこぼれると変色しますのでご注意ください。
- 10 芝・植木・池等の近くで作業する時は必ず養生の上で使用ください。
- 11 作業するときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
- 12 必ず適切な保護具(防毒マスク又は送気マスク・保護メガネ・保護手袋・不浸透性の保護衣・長靴等)をお使いください。
- 13 口や目に入ったときは、速やかに充分な水洗いをし、医師にご相談ください。
- 14 手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをしてください。異常のある場合は医師の診察を受けてください。
- 15 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- 16 一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- 17 取り扱いは手洗いを充分に行ってください。
- 18 用途以外には使わないでください。
- 19 施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

まぜるな危険!

塩素系の製品と一緒に使う(まぜる)と塩素ガスが出て危険です。

製品有効期限:未開封冷暗所保管で製造より1年

標準使用量(原液使用時) 5~10ml/l

※使用量は基材によって多少異なります。

白木のカビ取り漂白

カビトップエコ

使用方法

- 1 施工面のゴミ・ホコリ等を予め除去してください。
- 2 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
- 3 カビ・日焼けの程度に応じて2~10倍に水道水で希釈してお使いください。
- 4 薬品用ハケで均一に塗布してください。使用分量だけポリバケツ等に入れてお使いください。金属容器は使用しないでください。
- 5 ※日焼けを取るときは、全体的にムラのないように5~10倍位に希釈したカビトップエコを塗って仕上げてください。日焼けが取れていないときは、この作業を繰り返してください。
- 6 ※米松・杉等の赤味をこらさないように5~10倍位うすめて使ってください。
- 7 十分に水洗いしてください。
- 8 乾燥後白い粉(塩分)が残っている場合は、さらに水拭きしてください。
- 9 カビトップエコの残留分(塩分)を放置されると気象条件によっては発火したりカビが生えやすくなる場合があります。
- 10 ※カビトップエコを塗って落ちないときは、乾いてからシミトップエコを塗り重ねてください。
- 11 ※カビを取るときはシミトップエコを塗って乾燥してから、カビトップエコの原液を塗り重ねてください。頑固なカビには弊社商品『カビスケ』をお使いください。
- 12 ※古屋のあく洗いのときは、アクトトップエコABであくと汚れをきれいに落とし、シミトップエコを塗った後カビトップエコを塗って仕上げてください。

使用上の注意

- 1 使用上の注意及びSDSをよく読んでからお使いください。
- 2 ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上で採用ください。本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。漂白効果がありますので、必ず目立たない部分でテストしてください。
- 3 エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。
- 4 水道水以外のものと混合しないでください。

- 5 カビトップエコにシミトップエコや酸性タイプの製品を混ぜたり、よく乾かないうちに塗り重ねると塩素ガスが出て危険です。建物内、特にトイレ・風呂場等の風通しの悪い場所で使用すると、塩素ガス中毒になる恐れがありますのでご注意ください。
- 6 乾燥後、塩分が残りますので必ず水拭きしてください。カビトップエコが付着したまま、かなやサンダーをかけたり、紙・木屑・衣類等に付着して乾燥すると発火の原因になりますのでよく水洗いしてください。
- 7 ワックスや塗装をするときは、カビトップエコを塗った後、水拭きをしてよく乾いてからにしてください。塗装をするときは変色の恐れがありますので試し塗りの上お使いください。
- 8 タタミやジュウタン等にこぼれると変色しますのでご注意ください。
- 9 金属類・天然繊維類等は腐食しますので、必ず養生の上お使いください。
- 10 芝・植木・池等の近くで作業する時は必ず養生の上で使用ください。
- 11 作業するときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
- 12 必ず適切な保護具(防毒マスク又は送気マスク・保護メガネ・保護手袋・不浸透性の保護衣・長靴等)をお使いください。
- 13 口や目に入ったときは、速やかに充分な水洗いをし、医師にご相談ください。
- 14 手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをしてください。異常のある場合は医師の診察を受けてください。
- 15 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- 16 一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- 17 製品有効期限がすぎますと容器が経年劣化で、中身が漏れだすことがありますので注意してください。また製品有効期限内でも高温多湿等の条件下に保管されますと容器の劣化が進み中身が漏れ出すことがありますのでご注意ください。
- 18 取り扱いは手洗いを充分に行ってください。
- 19 用途以外には使わないでください。
- 20 施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

まぜるな危険!

酸性タイプの製品と一緒に使う(まぜる)と塩素ガスが出て危険です。

製品有効期限:未開封冷暗所保管で製造より1年

標準使用量(原液使用時) 5~10ml/l

※使用量は基材によって多少異なります。

※作業者及び第三者の安全確保のために必ず適切な措置をとってください。
※排水・臭い・揮発性ミスト・植物等の環境への影響について事前確認の上、必ず適切な措置をとってください。

●ホルムアルデヒドを含有する原料は一切使用していません。
●製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。